

野菜の需給・価格動向レポート(平成28年2月8日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	1月の価格情報				2月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の2月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 今後の価格水準 平均価格	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格							(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格
		上旬	中旬	下旬					
葉茎菜類	キャベツ	96.86	46	57	60	96.86	平均価格	<ul style="list-style-type: none"> 愛知産は、一般的に生育は順調で現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は気温の低下もあり、平年並みの出荷となる見込み。千葉産は、適度な降雨と気温高により生育は順調で、現在平年よりやや多めの出荷であるが、今後は気温の低下により平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、生育は順調で前進出荷傾向となっており、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 神奈川産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるものの、愛知産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づき、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。 北海道産は、貯蔵物を計画的に出荷しているが、1月中下旬の関東地方などの降雪や道内での暴風雪により輸送の乱れから一時的に出荷が減少したものの、大きな影響とならず、今後も引き続き平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。 千葉産は、生育が順調で太物中心のやや多めの出荷となっているが、今後、葉菜類の管理作業が始まり、収穫作業の遅れが見込まれることから、平年並み出荷の見込み。埼玉産は、病害虫の被害に加え、最近の気温の低下により太りが鈍いことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、特段の病害の発生もなく生育は順調なことから、引き続き平年よりやや多めと見込まれるものの、千葉産及び茨城産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。 茨城産は、現在平年並みの出荷となっているが、最近の気温の低下により生育進捗が落ちてきていることに加え、これまでの前進出荷の影響が見込まれることから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、現在平年並みの出荷となっており、気温高により生育は順調で前進出荷に加え、大玉傾向であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産及び群馬産の出荷が平年よりやや少なめ若しくは平年並みと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並み推移する見込み。 茨城産、群馬産及び埼玉産は、1月下旬からの気温の低下による生育の遅延から出荷が伸び悩み、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 茨城産、群馬産及び埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を大幅に上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 静岡産は、生育は順調で、現在平年並みの出荷となっているが、これまでの前進出荷の影響が見込まれることから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。香川産は、現在平年並みの出荷となっているが、今後は定植時の天候不順で十分な植え付けが出来なかったほ場からの出荷となることから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、天候に恵まれ生育が前進傾向であることから、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。 茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるものの、静岡産及び香川の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 宮崎産は、12月の日照不足などの影響による着果不足に加え、最近の気温の低下から太りが鈍いことから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、病害も特段なく生育も概ね順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、最近の天候不順で出荷が安定せず、今後も冷え込みが厳しいと見込まれることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。高知産は、12月の曇天などの影響で根の張りが弱く着果が少なかったことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 千葉産及び高知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、宮崎産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づき、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。 熊本産は、これまでの着果負担により草勢が弱く、実が少ない段からの出荷に加え、最近の曇天による日照不足もあり着色が鈍いことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、一部のほ場で病害が見られるものの、一般的に生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、これまでの前進出荷に加え、着果負担もあり、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 栃木産の出荷が平年並みと見込まれるものの、熊本産及び愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 高知産は、12月の曇天などの影響で根の張りが弱く、着果が少なかったこともあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。福岡産は、12月中下旬の曇天による日照不足などで花落ちがあった影響に加え、最近の気温の低下と曇天の影響で太りが鈍く細めであることもあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 高知産及び福岡産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 宮崎産は、これまでの前進出荷に加え、最近の急激な気温の低下により生育は停滞気味で現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、全般的には生育は順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。高知産は、11月中旬から12月の曇天などの影響により、根の張りが弱く、着花が少なかったこともあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。鹿児島産は、特段の病害の発生は見られないものの、成り疲れにより草勢が弱く、着花の低下により、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 宮崎産の出荷が平年並みと見込まれるものの、高知産及び鹿児島産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 神奈川産は、天候に恵まれ特段の病害もなく生育は順調で前進傾向となっているものの、出荷の自粛もあり、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、露地物がこれまでの前進出荷の影響で切り上がり早まり、現在次期作との端境もあって、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は次期作の本格的な出荷が見込まれることから、平年並みに回復する見込み。 千葉産及び神奈川産の出荷が平年並みと見込まれることから、1月下旬より値を上げ現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。 千葉産は、適度な降雨と気温高により生育は順調で、太物傾向となっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。 	
		92.10	44	52	60	92.10			
	たまねぎ	76.15	64	67	69	76.15			
		76.15	70	69	72	76.15			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	252.99	286	229	259	252.99			
		473.04	425	348	435	473.04			
	はくさい	64.18	38	36	52	64.18			
		68.70	54	48	68	68.70			
	ほうれんそう	338.43	488	433	665	338.43			
		375.38	506	475	694	375.38			
	レタス (結球)	233.85	246	228	243	233.85			
		226.75	271	241	243	226.75			
果菜類	きゅうり	370.98	342	401	511	370.98			
		350.33	310	379	508	350.33			
	トマト (大玉)	349.23	363	410	492	349.23			
		326.61	361	396	478	326.61			
	なす	389.03	380	491	543	389.03			
		397.74	372	496	549	397.74			
ピーマン	578.80	518	565	662	578.80				
	565.30	470	521	634	565.30				
根菜類	だいこん	79.03	49	43	64	79.03			
		80.47	53	45	62	80.47			
	にんじん	111.16	75	70	72	111.16			
		109.97	85	75	79	109.97			

種類	1月の価格情報				2月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の2月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準	
	(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別 平均販売価格							(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格
		上旬	中旬	下旬					
いも類	さといも	228.85	293	259	239	228.85	・入荷量：722t ・主産地：千葉(36)、埼玉(31)		
		219.65	335 (153%)	299 (136%)	331 (151%)	219.65			・入荷量：168t ・主産地：愛媛(61)、宮崎(21)、熊本(10)、輸入(7)
	ばれいしょ	96.99	99	104	122	96.99	・入荷量：8,404t ・主産地：北海道(69)、鹿児島(20)、長崎(11)		
		96.99	96 (99%)	103 (106%)	114 (118%)	96.99	・入荷量：2,241t ・主産地：北海道(54)、鹿児島(35)、長崎(11)		

注：1 平均価格は、過去6カ年間(平成20～25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込、近畿は前年実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は青ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

種類	1月の価格情報				2月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の2月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準	
	(参考) 過去5カ年 平均価格	東京・大阪市場の 旬別価格							(参考) 過去5カ年 平均価格
		上旬	中旬	下旬					
洋菜類	ブロッコリー	392.30	245 (62%)	369 (94%)	521 (133%)	332.22	・入荷量：2,285t ・主産地：愛知(39)、香川(21)、埼玉(13)、長崎(6)、福岡(4)、群馬(3)、熊本(3)		
		425.72	233 (55%)	391 (92%)	537 (126%)	350.96			・入荷量：618t ・主産地：徳島(32)、長崎(16)、香川(14)、鳥取(9)、和歌山(8)
根菜類	かぶ	153.79	135 (88%)	115 (75%)	132 (86%)	139.51	・入荷量：1,457t ・主産地：千葉(88)、埼玉(8)		
		139.51	130 (93%)	111 (80%)	129 (92%)	137.86	・入荷量：235t ・主産地：徳島(47)、福岡(32)、石川(9)、奈良(7)、京都(4)		

注：1 平均価格は、過去5カ年間(平成23年～27年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の赤字は、平均価格を150%以上回るもの、背景ありは平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)							
	過去5カ年平均		平成26年		平成27年			
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	前年比	前年比
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	1,755	102	107
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	1,761	103	106
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	1,939	101	107
4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	1,807	98	112
5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	1,966	98	118
6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	2,157	100	113
7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	1,966	99	113
8月	4,315	1,731	4,275	1,846	4,240	1,998	98	115
9月	4,688	1,844	4,745	2,035	4,836	2,143	103	116
10月	5,191	1,902	5,455	1,973	5,400	2,170	104	114
11月	4,990	1,700	5,291	1,704	5,303	1,809	106	106
12月	5,146	1,927	5,233	1,977	5,261	1,992	102	103

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
注：1 前年は、過去5カ年平均(平成22～26年)。
2 平成28年1月の値は、1月中旬の速報値。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

	(単位：kg/円、%)							
	キャベツ		トマト		だいこん		ばれいしょ	
	平成28年	前年比	平成28年	前年比	平成28年	前年比	平成28年	前年比
1月	121	54	705	103	116	75	310	98
2月								
3月								
4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 前年は過去5カ年平均(平成23～27年)。
2 平成28年1月の値は、1月中旬の速報値。

3 野菜の輸出入動向

区分	野菜の輸入数量				野菜の輸出数量			
	平成25年		平成26年		平成27年12月		平成27年1月～12月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比
生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	63,320	90	826,833	93
加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	151,588	104	1,752,341	98
野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	214,908	99	2,579,175	97
うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	120,803	96	1,355,497	96
中国産シェア	52		53		56		53	

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：財務省「貿易統計」)

主な生鮮野菜の輸入先(平成27年12月)

区分	合計	1位					
		1位		2位		3位	
		国名	数量	国名	数量	国名	数量
たまねぎ	19,507	中国	18,989	アメリカ	490	オランダ	28
かぼちゃ	12,984	メキシコ	12,984				
にんじん及びかぶ	5,089	中国	5,041	オーストラリア	27	アメリカ	11

主な生鮮野菜の輸出先(平成27年12月)

区分	合計	1位					
		1位		2位		3位	
		国名	数量	国名	数量	国名	数量
たまねぎ及びジャロット	6,216	韓国	5,985	台湾	145	オランダ	40
ながいも等	969	台湾	576	アメリカ	335	シンガポール	52
きのこ(その他)	146	台湾	80	香港	43	タイ	16

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.aic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。
※無断転載禁止 ・ レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。